

献 辞

杜甫による詩のなかで「人生七十古来稀なり」という有名な一節があります。わが国でも古くから70歳を古稀と呼び、長寿をお祝いする習わしがあります。昨年、伊藤史朗先生はめでたく古稀をお迎えになりました。先生は戦中、戦後の激動の時代を経済学徒としてお過ごしになったのち、同志社大学に専任講師として迎えられました。以来、今日まで45年間の永きにわたり、常に最前線で経済学教育に取り組み続けてまいりました。先生の教育理念は、経済学徒の養成にとどまらず、品行ある良識ある同志社人の育成をも視野に入れた広大なものです。1997年3月31日、先生は定年をお迎えになります。同志社大学では名誉教授の称号を授与し、先生の長年の功績を讃えようとしております。

かねてより、良き研究者であることが良き教育者であることを先生は身をもって示されてまいりました。学部教育を通して、あるいは大学院教育を通して、先生には経済理論ばかりか、教育者としての在り方についても、掛け替えないほどの貴重な手ほどきをしていただきました。先生のご退職にあたり、古稀のお祝いと、いままでの感謝の気持ちを込めて、記念論文集を先生に捧げたいと存じます。

伊藤史朗先生の益々のご健康とご活躍をお祈りしております。

1997年2月

経済学部長 八 田 英 二